

この度は第 62 回品評会及び販売に係る皆様のご協力たいへんありがとうございました。
展示場所が新たな「ばらフェスタ 2019(横浜大さん橋ホール)」へと移り、期待と不安の中迎えました
が、お陰様で成功裏に終えることができました。

【主なスケジュール】

5/13(月)活け込み

5/14(火)搬入・審査・展示

5/15(水)～19(日)一般公開・メンテナンス *19(日)閉場後撤収

5/18(土)・19(日)販売

〈活け込み〉

日時・場所：5/13(月)13:00～17:00 埼玉・川越花き市場

担当支部：埼玉支部

参加者：埼玉支部 12 名、群馬支部代表、静岡西支部代表

搬送：第一花き「花車」による

—感想—

○集荷は主に近隣のクロネコヤマト止めで行った

○荷受け・受付確認・活け込みなどほぼ混乱もなく無事に終えることができました

○会場装飾用・審査員お礼用の花も順調に準備できた

〈審査・展示〉



審査講評風景



大臣賞花

日時・場所：5/14(火)12:00～16:00 神奈川県横浜市横浜港大さん橋

審査・大さん橋 CIQ プラザ 展示・大さん橋ホール

参加者：茨城支部、執行部、事務局

9:00 搬入・審査準備

12:00 審査

13:30 審査講評

14:30 展示移動

16:00 解散

審査員：福井博一、山田邦夫(岐阜大)、神奈川県農業技術センター、JFTD、日本フラワーデザイナー協会、大田花き、FAJ、世田谷花き、花の国日本協議会、パークコーポレーション(敬称略)

出品点数：151点(うち特別賞26点)

*審査結果については HP「日ばら」で検索をご覧ください。

福井審査長談話…「出品点数はかなり減っているが特に上位入賞を見ると作り手の”想い”が伝わってくる」

—感想—

- 担当支部、運送業者、会場関係者のご配慮によりスムーズに搬入することができました
- 審査講評では審査員の皆さんから今後のばら生産への大きな叱咤激励を頂きました
- 今回は審査場所から展示場所への移動の必要性があり大変でした今後の改善点です

〈展示〉

日時・場所：5/15(水)～19(日)大さん橋ホール
～花フェスタ2019～

*今年から新たに開催される横浜市のイベントで「ばらの最新のトレンド発信の場」として最新品種の紹介、人気ガーデンデザイナー・気鋭のフラワーアーティストによる展示、そういった中に特別賞を始め出品物を展示しました。



展示会場

曾我部さんのブース

また、フラワーデザイナーの曾我部翔さんが提供花を活かして「モロッコ」をテーマとしたブースを手掛けていて、映画「カサブランカ」にでも出てくるような雰囲気を作り上げてくれました。

—感想—

- 日ばらの展示に横浜市長もとても喜んで下さったそうです
- 少し照明の当たる角度が良くなかったようです

〈販売〉

日時・場所：5/18(土)・19(日) ①ローズ&ガーデンマーケット ②青山フラワーマーケット

①ローズ&ガーデンマーケット(日本大通り)

横浜スタジアムと大さん橋へをつなぐ「日本大通り」を歩行者天国にしてばら苗をはじめ切り花野菜、ワークショップもあり、横浜らしくとてもハイカラな空間でした。

参加者：各日3名

販売数：各日130束×@500円

②青山フラワーマーケット

提供花本数：約3,000本

青フラさんと大田花きさんのご協力により、大田花き出荷している会員を中心に提供いただきました、売り立ては日ばらの出荷コードを登録させていただきました

販売は「横浜ローズウィーク」の期間に合わせて横浜ジョイナス1F店・横浜ジョイナスB1F店、みなとみらい店、アトレ川崎店、アトレ川崎ミドリギゲート店の5店舗で販売頂きました。



マーケット「日ばら」ブース



青山フラワーマーケット「ばらフェア」

みなとみらい店長のお話…「色々な種類がありお客様も楽しみながら選んでいました」

—感想—

- マーケットでは天気も良く、昼過ぎには完売でした
- 青フラさんは通常出荷品と提供花が区別できず混乱するケースがあったことが反省です

〈今後へ向けて〉

- 主催者によるとおおよその入場者数が見込みの15,000人を下回り好評だったにもかかわらず状況としては厳しいとのこと
- 次期事務局の鈴木さんにかなりの部分で協力頂いたが来年事務局との両立は厳しいと考える
- 今年は何とか終わることができたが、直ぐに来年へ向けて切り替えて話し始めないといけない

☆会員が離れていく中でどれだけのことができるか考えますが、毎回無我夢中のうちに終わっている感じです、皆様のご協力にあらためて感謝いたします。

消費対策委員会